

大谷學報 第三十六卷 總目次

チベット及びネポールにおいて新たに發見せられた
佛教典籍について

ジウゼッペ・ツッチ 一 號
平野 隆 1 [七]

Caikara に攝取された中觀一論說

地頭的領主層について 北

—特に勢力の限界を中心として—

辻 善之助博士と眞宗 辻 元一郎 1 [三]

—Bret Harte の劇的要素について—

藏俊と貞慶 藤島 達朗 1 [三]

佛陀時代の社會觀 富貴原 章信 1 [一]

—その時代史的一斷面— 雲井 昭善 1 [八]

無著・阿毘達磨集論について

高崎 正芳 1 [三]
高橋 正隆 1 [四]

奈良時代及びそれ以前の佛畫 岩見 至 1 [五]

笑についての一考察 岩見 至 1 [六]

彌勒と韋提	名	順	一
晩年の義門	多	屋	賴俊
晏鸞における別時意會通について	多	屋	俊
——善導と關聯して——	多	屋	三七
縁覺考	藤	原	章
明朝における僧官について	原	幸	三六
二種の否定	間	野	潜
——慧の否定と悲の否定——	世	良	龍
天台初期の禪法	安	壽	男
教育の過程	前	柏	俊
中世武家々訓における儒佛受容の過程	田	原	雄
論註に於ける一心釋の意義	永	祐	博
	田	泉	四五
	敬	聖	四五
	信	聖	四五